

平成20年度

決算報告書

自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日

国立大学法人 名古屋工業大学

第5期事業年度

平成20年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,887	4,887	-	
施設整備費補助金	1,440	1,570	130	(注1)
補助金等収入	24	55	30	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	28	28	-	
自己収入	3,442	3,656	214	
授業料、入学科及び検定料収入	3,331	3,506	175	(注3)
雑収入	111	150	38	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,782	1,964	183	(注5)
目的積立金取崩	494	278	△216	(注6)
計	12,097	12,438	341	
支出				
業務費	7,510	6,600	△909	
教育研究経費	7,510	6,600	△909	(注7)
一般管理費	1,313	2,010	698	(注8)
施設整備費	1,468	1,598	130	(注9)
補助金等	24	55	30	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,782	1,814	32	(注11)
計	12,097	12,077	△20	
収入-支出	-	361	361	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、平成20年度補正予算の追加により予算額に比して決算額が130百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算作成段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたため、予算額に比して決算額が30百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学科及び検定料収入については、平成20年度入学者の増加、未納退学者の減少及び平成21年度入学者に係る授業料前納額の増加等により予算額に比して決算額が175百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として本学独自の公開講座のプロジェクト（工場長養成塾）の拡大及び特許権収入の増収等により決算金額が38百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算作成段階では予定していなかった国（の各組織及び民間）からの受託、共同研究及び受託事業等の獲得に努めたため、及び科学研究費補助金間接経費が交付対象範囲の拡大により増加したため、予算金額に比して決算金額が183百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、取崩事業が少なかったことに伴い予算金額に比して決算金額216百万円が少額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、人件費削減及び教育研究の効率化に伴う経費等の削減により、予算金額に比して決算金額が909百万円少額となっています。
- (注8) 一般管理費については、耐震対策事業に伴う移設撤去費等の増加により、予算金額に比して決算金額が698百万円多額となっています。
- (注9) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が130百万円多額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が30百万円多額となっています。
- (注11) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が32百万円多額となっています。